

端午（鲁迅作品日文版）PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/245/2021\\_2022\\_\\_E7\\_AB\\_AF\\_E5\\_8D\\_88\\_E7\\_AF\\_80\\_EF\\_c105\\_245743.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/245/2021_2022__E7_AB_AF_E5_8D_88_E7_AF_80_EF_c105_245743.htm) 方玄（ほうげんしゃく）は近「大差ない」という言を用しほとんど口癖のようになった。それは口先ばかりでなく彼のの中にしかと根城を据えているのだ。彼は初め「いずれも同じ」という言をつかっていたが、後でこれはぴったり来ないと感じたらしく、そこで「大差ない」という言に改め、ずっとつかいけて今日（こんにち）に及んでいる。彼はこの平凡な警句をしてから少からざる新しき感慨を引起したが、同にまた多の新しき慰安を得た。たとえば目上の者が目下の者を抑えつけているのをと、以前はに障ってたまらなかつたが、今はすっきりを更（か）えて、いずれこの少年が子供を持つと、大概こんな大（みえ）を切るのだらうと、そう思うと何の不平も起らなくなった。また兵が夫を（なく）ると以前はむっとしたが、もしこの夫が兵になり、兵が夫になったら大概こんなもんだらうと、そう思うともう何のりもなかつた。そういうに考えた、にまた疑いが起る。自分はこの社会とする勇がないから、ことさら心にもなくこういう逃げ路を作っているのじゃないか。はなはだ「是非の心き」に近く、好（よ）きに改めるに如かざるにしというわけで、この意が局彼のの中に生して来た。彼がこの「大差し」を最初公表したのは、北京（ペキン）の首善学校（しゅぜんがくこう）の堂であつた。何でも史上の事柄にしていたのであつたが、「古今の人相からず」というこ

とから、各色人の等しき事、「性相近し」にき及ぼし、遂に学生と官僚の上に及んで大をした。「在社会で最もく行われる流行は官僚を倒することで、このは学生が最も甚（はなはだ）しい。だが官僚は天のなせる特の族ではない。とりもなおさず平民の化したもので、に学生出身の官僚も少からず、老官僚と何の撰ぶところがある。『地を易（か）えれば皆然り』思想も言もも采も元より大した区のあるものではなく、すなわち学生体の新（あらた）に起した多（きよた）の事は、すでに弊害を免れく、その大半は香花火のように消したではないか。全く大差しである。ただし中国将来の考すべき事はすなわちここにあるので……」堂の中には二十名余りの学生が散在していた。ある者はいかにもそうだ、というような付した。このを好いと思ったのだろう。ある者は然とした。青年の神を侮辱すると思ったのだろう。他の人は微笑を含んで彼をた。おおかた彼自身の弁解とこれをたのだろう。方玄は官僚を兼ねていたからである。しかしこの推定は皆りであった。これは彼の新不平にぎないので、不平をいてはいるが、彼の分に安（やすん）ずる一の空にしかあり得ない。彼は自分ではがつかないが、怠け者のせい、それともまた役に立たないせい、とにかくを肯（がえん）じないで、分に安じ己（おのれ）を守る人らしくえた。大臣は彼に神病があるのを罪きものに思い、彼の地位にを来さないから、彼は一言（ごん）も言い出さないのだ。教の月が半年ほど渡らないが、一方には官俸を取って支持しているから、彼は一言も言い出さないのだ。教が合（れんごう）して月の支を要求した、

彼は内心大人げないことだ、々しいことだと思ったが、官僚が度を越えて教を外したというをき及んでいささか感ずるところあり、その後一して自分もちょうど金に困り、そうしてほかの官僚は教を兼任していないという事をめたので初めてなるほどと感づいたのである。彼は金に差支えたが教の体には加入しなかった。しかし(みな)が(ひぎょう)すれば堂には出ない。政府は「授をすればお金をやる」と声明したが、この言は彼にとっては非常に恨めしかった。まるで果をせびらかして猿を使うようなものである。それにある大教育家の得がはなはだに食わなかった。「片手に物を抱えて片手にを要求するのははなはだ高尚でない」と、彼はこの、初めて彼の夫人にして不平をした。「おい、たった二皿だけか？ どういうわけなんだえ、これは」高尚でないというをいたその日の、彼はお菜を眺めてそう言った。新教育を受けたことのない奥さんには学名もなければ雅号もなかった。だからに何と言いようもなかった。旧例にれば「夫人」と呼んでいいのだけれど、彼は古臭いのが嫌いで、「おい」という一を明した。夫人は彼にして「おい」という一すらも所持せず、ただ面と向ってすだけである。それでも法にって、その言が彼にしてせられるということが解るのである。「だけど、先月の分は一割五部しかないのですもの、みんな遣い切ってしまいました。きのうのお米はそれやもう、ようやくのことで借りて来たんですよ」彼女は卓の(そば)に立って彼とを合せた。「そらろ、本を教えて月取るのが卑しいか。これは皆のあることで、人はを食わなければならん、は米で作らなければな

らん、米はでわなければならん。こんな些のことを知らないのか.....」 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)